

整理番号 01420

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Quartz Wool (Fine)**

クォーツ ウール (ファイン)

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
製造者情報	担当	SDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		

2. 危険有害性の分類

分類の名称	: GHS 分類
物理化学的危険性	分類対象外又は区分外
健康に対する有害性	分類対象外又は区分外
環境に対する有害性	分類対象外又は区分外

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	二酸化けい素(アモルファス)
成分および含有量(wt%)	100
化学式又は構造式	SiO ₂
官報公示整理番号	
化審法	(1)-548
安衛法	通知対象物 312
PRTR 法	対象外
C A S No	60676-86-0
国連分類及び国連番号	該当しない

4.応急措置

- 吸入した場合 : 製品からのダストを吸入した場合、直ちに新鮮な空気のところへ移動させる。
- 皮膚に付いた場合 : 石鹼と水で洗い流す。症状が悪化、持続する場合は医師の診察を受ける。
- 目に入った場合 : すぐに大量の水で 15 分間以上眼を洗い流す。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。症状が悪化、持続する場合は医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込む事態は想定しにくい、万一飲み込んだ場合は医師の診察を受けること。意識が無い場合は口に何も与えないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状 : ダストが気道、皮膚、眼に刺激を起こすおそれがある。

5.火災時の措置

- 消火剤 : 周辺火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 入手不可
- 消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
- 消火機材/方法 : 火災又は爆発の際はヒュームを吸入しないこと。
- 特有の消火方法 : 他の物質も考慮した通常の消火方法をとる。
- 通常の火災危険 : 異常な火災や爆発は知られていない

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 関係者以外を近づけない。換気を十分に行いダストを吸入しない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : こぼれたものは掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に集める。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

- 安全取扱い注意事項 : ダストの発生、蓄積を最小限にする。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストを吸入しない。眼への接触を防ぐ。長期的な暴露を防ぐ。使用後は手を洗う。産業衛生に気を配る。
- 安全な保管条件 : 密閉できる専用の容器に保存し、換気の良い場所に保管する。混触危険物から遠ざける (第 10 項を参照)。直射日光を避け、25℃を超えない冷所に保存する。

8. 暴露防止措置

許容濃度(暴露限界値)

US. OSHA TableZ-3 (29 CFR 1910.1000)

成分	タイプ	値
二酸化ケイ素 (アモルファス) (CAS 60676-86-0)	TWA	0.8 mg/m ³ 20 mppcf

US. NIOSH: Pocket Guide to Chemical Hazards

成分	タイプ	値
二酸化ケイ素 (アモルファス) (CAS 60676-86-0)	TWA	6 mg/m ³

生物学的限界値

生物学的暴露限界値は設定されていない。

設備対策

十分な換気を確保する。

保護具

眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。
その他	適切な耐薬品保護衣を着用する。
呼吸器の保護	ダスト、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸引を避ける。換気が十分でない場合、認証済みの呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	取扱後、飲食喫煙前の手洗いなど常に衛生に気を配る。仕事着、保護具類は定期的に洗濯、清掃する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物質の状態	固体
形状	繊維
色	白
臭い	なし
臭気限界	入手不可
pH	入手不可
融点・凝固点	入手不可
沸点、初留点と沸騰範囲	2230°C 推定
引火点	入手不可
蒸発率	入手不可

燃焼性(固体、ガス)	入手不可
燃焼または爆発範囲	入手不可
燃焼範囲-下限(%)	入手不可
燃焼範囲-上限(%)	入手不可
爆発下限界(%)	入手不可
爆発上限界(%)	入手不可
蒸気圧	入手不可
蒸気密度	入手不可
相対密度	入手不可
溶解度	水に不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
自然発火温度(発火点)	入手不可
分解温度	入手不可
粘度	入手不可
その他の情報	

比重 2.2

10. 安定性及び反応性

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	通常の使用可で有害な反応は起こらない
避けるべき条件	ダストが空気中に放出されないようにする（圧縮空気でダストを吹き飛ばしたりしない）。混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	アルカリ、フッ化水素酸
有害な分解生成物	1300℃以上でクリストバライトを形成する。

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある。長期的な吸入性ダストへの暴露は有害のおそれ。
皮膚	ダストや粉末は皮膚に刺激を起こすおそれ。
眼	眼にダストが入ると刺激をおこすおそれ。
飲み込んだ場合	飲み込みが職業的暴露の主要な経路となることは考えにくい。
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	ダストによる鼻と喉の刺激

毒物学的影響

急性毒性

成分

二酸化ケイ素（アモルファス）

(CAS 60676-86-0) 急性

経口

LD50

マウス

>15000 mg/kg

ラット

>22500 mg/kg

*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚の腐食/刺激

入手不可

重篤な眼の損傷/眼刺激

入手不可

呼吸器または皮膚感作性

呼吸器感作性 入手不可

皮膚感作性 入手不可

生殖細胞変異原性

入手不可

発がん性

IARC,ACGIH,NTP,OSHA において本製品に発がん性がある
とは考えられていない。IARC Monographs. Overall
Evaluation of Carcinogenicity二酸化ケイ素（アモルファス）（CAS 60676-86-0）
3 ヒトへの発がん性があると分類できないOSHA 特定規制物質
(29CFR 1910.1001-1050)

記載なし

生殖毒性

入手不可

特定標的臓器毒性（単回暴露）

分類されていない

特定標的臓器毒性（反復暴露）

分類されていない

吸引性呼吸器有害性

入手不可

長期的影響

入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性

この製品の環境有害性は分類されていない。ただし多量
又は恒常的な流出による有害性を除外するものではない。

残留性/分解性

入手不可

生態蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

その他の有害影響

この製品による環境への悪影響(例えばオゾン層破壊、光
化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能
性)は考えられていない。

13.廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	入手不可
汚染容器	入手不可

14.輸送上の注意

DOT,IATA,IMDG において危険品として規制されていない。

15.適用法令

労働安全衛生法 : 施行令第 18 条の 2 別表第 9 (名称等を通知すべき有害物) 312 (シリカ)

16.その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(040115)	: LECO Corporation
	JIS Z7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、 作業場内の表示および安全データシート	
	化学便覧	: 丸善
	職場のあんぜんサイト	: 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム	: 独) 製品評価技術基盤機構

作成 : 平成 13 年 6 月 8 日

改訂 : 平成 13 年 10 月 15 日(書式改訂、法令見直し)

平成 22 年 4 月 27 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

平成 28 年 10 月 18 日 (法令見直し、英文 SDS 改訂)

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。